



Data

監督：デヴィッド・フィンチャー
 脚本・原作：ギリアン・フリン『ゴーン・ガール』（小学館文庫刊）
 出演：ベン・アフレック/ロザムンド・バイク/ニール・パトリック・ハリス/タイラー・ペリー/キャリー・クーン/キム・ディケンズ/パトリック・フュジット/エミリー・ラタコウスキー/ミッシェル・パイル/セーラ・ウォード/ケイシー・ウィルソン

👁️👁️ みどころ

5回目の結婚記念日に、妻が突然失踪。ルミノール反応の結果、キッチンには大量の血痕が……。しかも、モノ書きの妻はあちこちに宝探しのメッセージを。次第に殺人の疑惑で追いつめられていく夫は敏腕弁護士を雇って防御につとめたが、さてその戦略は？

他方、失踪した妻は意外な行動を経たうえ、ある日、レイプ被害者らしく血まみれで警察の前に。これにて妻殺しの疑惑は晴れたが、さてこの美人妻の狙いは一体何だったの？

なるほど、これぞ男と女の刺激的サイコロジカル・スリラー！女の怖さを楽しみみと……。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□ 『チェンジリング』は9歳の息子！本作は愛する妻が！ ■□

失踪といえば、昨今はすぐに北朝鮮による日本人の拉致問題を思い起こさせるが、アンジェリーナ・ジョリーが強烈な母親役を演じた『チェンジリング』（08年）の「失踪」は9歳の息子だった（『シネマルーム22』51頁参照）。それに対して本作の「失踪」は、ニック・ダン（ベン・アフレック）の愛する妻エイミー・ダン（ロザムンド・バイク）だ。

『チェンジリング』の舞台はロサンゼルスだったが、本作は結婚後に夫婦が移り住んだニックの出身地であるミズーリ州の小さな町。まもなく結婚5年目を迎える2人にはまだ子供がいないが、2人ともモノ書きをしているだけあって、住んでいる家は瀟灑な一戸建て。もっとも、幼い頃から人気絵本のモデルとして知られたセレブ・ガールのエイミーは、今も執筆を続けていたが、ニックの方はいつの頃からかそれに行き詰ったらしく、今は双

子の妹マーゴット・ダン（キャリー・クーン）と共に「サン・バー」という小さなバーを経営しているようだ。したがって、多分経済的にも2人のアンバランスは大きいはずで、冒頭に映し出される2人の風景を見ていると、一見仲が良さそうだが、実は・・・？

■□■結婚5年の記念日になぜ失踪？その生死は？■□■

バブルの頃は『3年目の浮気』という歌が大ヒットしたくらいだから、結婚5年目で子供がなく、経済的には女性上位、となれば夫婦の間に隙間風が吹いていてもおかしくはない。そして、エイミーの「失踪」という事件が現実には起きたのは、ちょうど2人の5回目の結婚記念日。何ゴトも完璧主義のエイミーに対して、何ゴトも鷹揚でお気軽(?)なニックだが、この事態を前にすぐに警察に届け出たのは立派。

ジム・ギルピン巡査（パトリック・フェジット）と共にやってきた担当の女性刑事ロンダ・ボニー（キム・ディケンズ）はニックにいろいろ質問したが、ニックはエイミーの近所での交友関係すら何も知らなかったから、そのいい加減さにビックリ。ちなみに、11月16日に観た『デビルズ・ノット』（13年）では、一斉に失踪した3人の男の子は数日後、一斉に死亡が確認されたが、さて本作では失踪したニックの愛する妻エイミーの行方は？生死は？

本作はギリアン・フリンのヒット小説『ゴーン・ガール』をデヴィッド・フィンチャー監督が映画化したものだが、脚本もギリアン・フリンが書いている。そして、その原作は、2002年12月24日、クリスマス・イヴの早朝カリフォルニア州で起き、全米を騒がせた「レイシー・ピーターソン失踪事件」を基に書かれているらしい。その事件では、失踪した妻は、失踪から4か月後にバラバラ死体となって発見されたため、その夫は妻殺しの罪で逮捕され、死刑判決が下されたそうだが、さて原作は？そして本作は？

■□■ワイドショーが好むネタは日米共通！■□■

モノ書きとして有名な、27歳の美人妻エイミーが5年目の結婚記念日に失踪！それはなぜ？夫婦の愛はどうだったの？そして彼女の生死は？そんな話題がワイドショーのネタとして好まれるのは日米共通らしい。エレン・アボット（ミッシェル・パイル）が司会をするTV番組をはじめ、エイミー失踪のニュースは多くのワイドショーで大々的に報じられたため、多くのボランティアがエイミーを捜すためにニックの家の周りに結集。ニックも連日カメラの前に立たされ、マイクでの発言を求められた。そんな中、ニックはエイミーの父ランド・エリオット（デヴィッド・クレノン）、母メアリーベス・エリオット（リサ・ペインズ）とともに、いつもいい夫役を演じ、愛する妻を一日でも早く見つけて欲しいと優等生的発言をくり返したが、さてその本音は？

マーゴットは双子の妹だが、性格はニックと正反対のしっかり者。したがって、ニックが理想的な妻と考えて結婚したエイミーの「欺瞞性」を女の直感で感じていたし、一見仲の良さそうな夫婦仲も仮面では？と疑っていたから、ニックの警察対応やマスコミ対応を

何かと心配していた。他方、ボニー刑事は最初からニックの家の中に行くつかの血痕があったことに疑問を持っていたが、キッチンに大量の血痕があったことがルミノール反応によって判明。これによって、ニックによるエイミーの殺害、つまり夫による妻殺しの疑惑が急浮上してくることに。しかも、マスコミの攻勢から逃れるため、マーゴットの家に寝泊まりしていたニックが、コトもあろうに若い愛人アンディ・ハーディ（エミリー・ラタコウスキー）を連れ込み、エッチまでしていたことがわかると、マーゴットは激怒。こんなことがバレたら、これまで模範的亭主を演じてきたことがすべてムダになるばかりか、今度は一転袋叩きにされるうえ、妻殺しの容疑で逮捕される可能性も……。まさに「レイシー・ピーターソン失踪事件」と同じ展開になる可能性が大きくなるわけだ。

エレン・アボットを司会者とするTVワイドショーでも、物知り顔のコメンテーターたちの発言から、次第にそんな傾向が強まっていったが……。



ゴーン・ガール（初回生産限定）DVD発売中
20世紀フォックス ホームエンターテイメント ジャパン
©2015 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

■□■任意捜査への協力は打ち切り！ 弁護人選任へ！ ■□■

ギルピン巡査は最初からニックに疑いの目を向けていたが、ボニー刑事の方はデュー・プロセスに則って公正な捜査を目指していた。ここらは、さすが民主主義の国アメリカの警察で、12月13日に観た韓国映画『ポイントブランク〜標的にされた男〜』（14年）に見た韓国の広域捜査隊の捜査とはえらい違いだ。しかし、血痕をはじめ、エイミーが残した数々の「宝探しのメッセージ」を通じて露見してきたニックのさまざまな疑惑を前にすると、さすがにボニー刑事のニックへの質問は次第に尋問調に。それに耐えかねたニックは、TVで見た連戦連勝の刑事弁護士（？）ターナー・ボルト（タイラー・ペリー）弁護士を弁護人に選任することに。

アメリカには弁護士が星の数ほどいるから、その中でわざわざ飛行機に乗って自分を訪ねてくれたことにターナー弁護士が喜んだのは当然だが、当面の「契約金」は10万ドル（約1000万円）というから、さすがにすごい。ただ、ターナーの弁護活動を見てみると、『リンカーン弁護士』（11年）『シネマルーム29』（178頁参照）のミック・ハラ

一（マシュー・マコノヒー）と同じように、個人で動くだけで、私の弁護士活動のようにスタッフと共にチームとして動くものではないから、かなり違和感がある。つまり、事情聴取、記録作り、書面作り、資料収集、警察や裁判官との面接交渉、等々を弁護士1人がすべてこなせないのは当然だから、数名の「チーム」として動く必要があるわけだ。また、ターナー弁護士はニックがTVに出演した時の言い回しや仕草まで逐一チェックし、好印象を与えるように指導していたが、これは近時、弁護士の重要な役目として認識されているものだ。『デビルズ・ノット』では、最初から偏見を持った裁判官のために弁護団は大いに苦しめられていたが、さて、ターナー弁護士の場合は・・・？

■□■TV出演の効果は？■□■

ボランティアたちは一生懸命にエイミーの行方を捜していたが、警察は次第にエイミーがニックによって殺害されたのではないかと疑い始めていたから、ニックに対する世間の雲行きもいつどう変わるかわからない。さらに、マーゴットの心配事は、ニックがアンディという若い女と浮気していたことが世間にバレること。そんなことになれば、ニックは世間から袋叩きにされるうえ、その浮気は妻殺しの「動機」にもなるから、ニックは一層ヤバイ立場になることは明らかだ。そんな心配をしていると、アンディの存在を嗅ぎ付けた、TV司会者エレンは番組にアンディを呼び、ニックとの浮気を告白させたから、ニックは最悪の状態に。しかし、さすがターナー弁護士は海千山千の強者。そこで、ターナー弁護士は思い切った提案を。

それは、ターナー弁護士と懇意の司会者シャロン・シーバー（セーラ・ウォード）のTV番組にニックを出演させて、インタビューの中で自分の浮気を告白して率直に謝罪し、エイミーの帰宅を呼びかけることによって世間の同情を集めようというものだった。当初は嫌がっていたニックも、TVカメラの前でいかに振る舞えば好印象を持ってもらえるかという観点から、ターナー弁護士とマーゴットの特訓を受け、いまや自信満々。TVカメラの前で自分の非（浮気）を謝罪するとともに、愛する妻エイミーに早く帰ってきてくれ、とのメッセージを伝えたが、その演技力はさすがだった。しかして、エイミーはこんな番組をどこで、どのような状態で見ていたの・・・？

■□■エイミーはどこへ？その変身ぶりとは？■□■

本作は、『セブン』（95年）、『ゾディアック』（07年）（『シネマルーム15』283頁参照）、『ベンジャミン・バトン 数奇な人生』（08年）（『シネマルーム22』16頁参照）、『ソーシャル・ネットワーク』（10年）（『シネマルーム26』18頁参照）等を監督したデヴィッド・フィンチャー作品らしく、ストーリー展開は複雑。とりわけラストに向けて、二転、三転はおろか四転、五転していくのでそれに注目！そこに至る、本作中盤の注目点は、第1に、なぜエイミーはニックの家から失踪したの？第2に、なぜ謎のメッセージを

たくさん残したの？そして第3に、なぜニックの殺人罪が疑われるような状況を作り出したの？ということだ。その謎解きは最後の最後までわからない作りになっているので、ここでのネタバラシは避けたいが、今エイミーはどこでどうしているの？

12月6日に観た『新しき民』（14年）でも、「山中（さんちゅう）一揆」に失敗して村を逃げ出した小作人は、自分の顔を石で叩いたうえ、右目まで潰して人相を変えていたが、本作を観ていると、美人妻のエイミーもそれと似たようなことをやっているから、アレ・・・。百田尚樹の原作を映画化した『モンスター』（13年）では、高岡早紀が何度も整形手術をすることによってブスからの大変身を果たしていた（『シネマルーム30』未掲載）が、本作に見るエイミーの変身ぶりは？

■□■想定外の事件から、元カレの豪邸へ！■□■

きっとエイミーは1人になりたかったはずだが、世の中にはおせっかいな女がいるもの。本作のそれが、エイミーのモーテルの住人グレタ（ローラ・カーク）だ。何かとエイミーに声をかけてきたから、ひょっとして目の前にいる女が今さかんにTVで顔が映されている、失踪したエイミーと同一人物だということがバレてしまうのでは・・・？そんな心配をしていると、そこまでは見抜けなかったらしいが、大金を持っていることに気付いたグレタとその恋人ジェフ（ボイド・ホルブルック）によって、エイミーは所持金をすべて奪われてしまったから大変。こんな全く想定外の事件によって逃走資金をすべて失くしてしまったエイミーの、その後の身の振り方は？

そこに注目していると、エイミーは元彼のデジー・コリンズ（ニール・パトリック・ハリス）に電話。いくら何でも世の中はそんなに甘くないと思うのだが、そこからスクリーン上で展開される大金持ちで優しい元彼のデジーと、1人で彼の豪邸に転がり込んだエイミーとの奇妙かつリッチな生活ぶりは面白い。TVで流れるニックの「心の叫び」を、エイミーが聞いたのはそんな時だったが・・・。

■□■ここまでやるか！この行動力にビックリ！■□■

これによってエイミーの心境にどのような変化が生じたのかは男の私にはよくわからないが、その後に起きるデジー宅での監視カメラを利用し、レイプされたかのような外観を創り出し、その上でベッドに迎えたデジーの首を搔っ切るエイミーの迫力にビックリ！ここでは、ワインボトルで自分の性器を傷つけるという大胆な行為まで自作自演しているからすごいものだ。これだけの外観があり、死人に口なし、目撃者（？）は監視カメラだけということであれば、エイミーがレイプ被害者と認定されるのは当然。ポニー刑事はあまりにできすぎた状況に疑問を持ったが、警察の結論はエイミーはレイプ被害者であるとの認定で確定してしまうことに・・・。

白いドレスには真っ赤な血が良く似合う。服を着たまま強引にレイプされそうになった

ところで、下からカッターで男の首を掻っ切ったのだから、エイミーの白いドレスには真っ赤な血が大量に。そんな状態のままデジーの豪邸を逃げ出し、警察に保護されたエイミーは放心状態だ。もっとも、それがホントの姿か、それともお芝居かは微妙だが、何はともあれ、失踪中の愛する妻が発見されたことは、ニックにとっても世間にとっても大いに歓迎すべきことだ。このような形でエイミーが世間の前に姿を現し、ニックの元へ帰りたいと言い始めたことによって、ニックの殺人罪の容疑は全面的に晴れるとともに、ターナー弁護士のお仕事もなくなってしまうことに・・・。

■□■これぞ男と女の刺激的サイコロジカル・スリラー！■□■

本作のパンフレットには、「男と女の刺激的サイコロジカル・スリラー」と表現されているが、女の恐さにゾッとするのは、数か月ぶりに自宅に戻ったエイミーが、シャワーを浴びながらニックの質問に答えるシーン。そりゃ、血のついたドレスを早く脱いでサッパリしたいのはやまやまだろうが、エイミーがわざわざシャワー室でニックの質問に答えたのは、それ以上に深い意味があったらしい。それは盗聴の防止だ。

警察の捜査の手はニックの自宅にまで及んでいたから、盗聴器が仕掛けられている可能性は十分。頭のいいエイミーはそこまで読んでニックをシャワー室に呼び、裸にしたうえで、裸同士の会話に導いたわけだ。2人の身体が裸なら、その会話内容も裸。そこではじめて、エイミーの失踪はニックに対する復讐であること、そしてレイプ被害者を装ってデジーを殺したのは自分であることをニックに告白したわけだ。その結果、俺はこんな怖い女と結婚していたのか。そして、これからもずっと結婚生活を続けていかなければならないのか。そんなことは俺には到底できない。ニックがそう考え、エイミーとの離婚を主張し、すべてを警察に話す主張したのは当然だが、さてデヴィッド・フィンチャー監督が描く、エイミーのそれに対する答えは・・・。

そこでのエイミーの切り札は妊娠。エイミーから「精子バンクで溜めていたニックの精子を使って妊娠した」と告白されたニックは、そこでどんな決断を？それはあなた自身の目でしっかりと！なるほど、これぞ男と女の刺激的サイコロジカル・スリラー！ここまでやるか！やっぱり女は怖い！ひょっとして、ロザムンド・パイクはこの演技でアカデミー賞主演女優賞に・・・？



ゴーン・ガール (初回生産限定)
DVD発売中
20世紀フォックス ホームエンターテイメント ジャパン
(C)2015 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

2014 (平成26) 年12月21日記